

彼方「かなた」

校長通信

H24.4.5

Vol.3

【始業式で伝えたかったこと】

「伝説の学校」を作りたい！これが湖北中学校の校長としての夢です。

「伝説の学校」ってどんな学校？それは、通うだけで楽しくてしかたがない学校です。通うだけで助け合える力が育つ学校です。

みなさんが十年後、二十年後に大人になり、親になったときに、自分の中学校を振り返り、「中学校時代は、楽しかったなー！助け合ってたなー！湖北中で本当に良かったなー！」と言える「伝説の学校」を作りたいのです。

それでは、「伝説の学校」ってどんな学校かを説明します。六つお話しします。

一つ目は、学校教育目標です。みんなが目指す合言葉です。それは、「自主貢献」です。

「自主的に行動し、助け合える生徒」になるうということですよ！

学校は大人になるための勉強をするところです。では、大人ってどうなると大人なのでしょう？日本の法律では二十歳になると大人です。でも大人じゃない人が沢山います。大人

というのは、誰かのために何ができるかを考え、自ら一歩踏み出し、行動する人のことだと思います。脳科学の先生達も揃ってそう説明しています。自分から考え、誰かのためになるように一歩踏み出す練習を中学校で沢山して卒業してください。

学校教育目標を「自主貢献」としたのはそういう理由です。

二つ目は、「伝説の学校」の生徒についてです。「伝説の学校」の生徒は、**的確に判断できる生徒です。****自主的に行動できる生徒です。**そして**助け合える生徒です。**みなさんにはそういう生徒を目指して欲しいのです。そうすれば、立派な大人になれます。

三つ目は、「伝説の学校」の先生方です。「伝説の学校」の先生は、みんなを理屈抜きで好きになる先生です。それは、**みんなの良さを認める先生**という意味です。次に**みんなの気持ちを分**かる先生です。それは、**みんなの話をよく聴く先生**という意味です。そして、いくつになっても**学び続ける先生**です。それは、みんなのモデルになる先生です。私たちはそういう先生を目指していきます。

四つ目は、「伝説の学校」の研究です。「全員がわかる・できる授業づくり」を通して「自主的に課題解決する力」を身につけ、一人一人の学力を向上させたいのです。わからないときは、

質問してください。質問されたら応えてあげて下さい「教えて！」「いいよ！」という関係をつくってください。コミュニケーションが取れて、相手にわかるように表現できる力を身につけるのが「伝説の学校」の研究です。先生達も一生懸命勉強します。私も各教室の授業の様子を見させてもらいます。一緒に作っていきましょう！

五つ目は、「伝説の学校」の十二の実践です。「愛の学びあい」「笑顔の挨拶」「感謝の地域交流」「感動の歌声」「充実の自治動」「感激の清掃」「愛のふれあい弁当」「黙想と写本」「継続の家庭学習」「自律の部活動」「真摯なキャリア」「向上の冬季練習」、以上十二の実践です。これは、湖北中生のプライドです。

最後に「伝説の学校」の地域連携です。学校と家庭と地域が連携し、みんなで学校づくりを進めたいのです。地域の方にもボランティアで学校に入ってもらい皆さんの応援をしてもらいます。そして、十年後、二十年後に皆さんがボランティアとして学校づくりに協力して欲しいのです。そういう活動を通して**みんなで郷土愛を育んで行きたい**のです。

本気で「伝説の学校」をつくってみたいと思いませんか？楽しくて仕方がない助け合える学校づくりに一緒に取り組んでいこう！